

001 福音書と福音記者の象徴等

▶四福音書(共観福音書+ヨハネによる福音書)の特徴

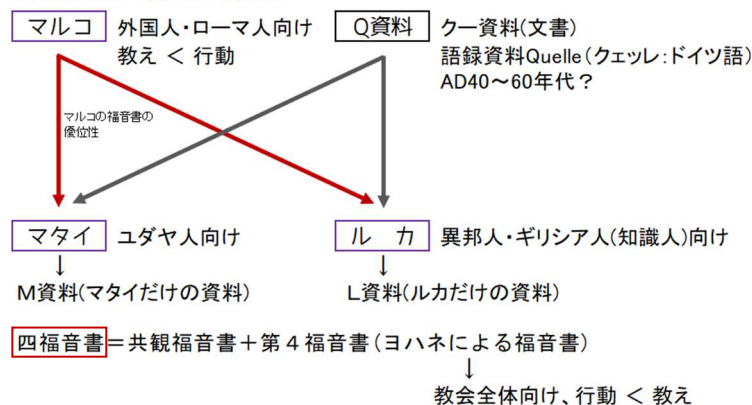
	マルコによる福音書	マタイによる福音書	ルカによる福音書	ヨハネによる福音書
福音書記者 福音史家	マルコ (使徒12:12)	元徴税人の使徒マタイ	元医者 のルカ	ゼベダイの子の使徒ヨハネ
成立時期	70年代	80~90年代	80~90年代	90~110年代
対象	外国人に ローマ人	ユダヤ人 ヘブライ語の 堪能者	異邦人 ギリシア人	全ての 人

④成立時期には諸説あります。

▶共観福音書

新約聖書の四福音書の内、ヨハネによる福音書を除く、①マタイによる福音書、②マルコによる福音書、③ルカによる福音書を言う。この3つの福音書には共通する記述が多く、同じような表現も多い。

共観福音書の資料的な関係



▶福音記者(=福音史家、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ)の象徴

<1>エゼキエル書とヨハネの黙示録にある「人間」「獅子」「(雄)牛」「鷲」

・エゼキエル書1:10

その顔は【人間】の顔のようであり、四つとも右に【獅子】の顔、左に【牛】の顔、そして四つとも後ろには【鷲】の顔を持っていた。

・ヨハネの黙示録4:7

第一の生き物は【獅子】のようであり、第二の生き物は若い【雄牛】のようで、第三の生き物は【人間】のような顔を持ち、第四の生き物は空を飛ぶ【鷲】のようであった。

<2>フランスの南東部に位置する都市、リヨンの司教[※]エイレナイオス(AD130年頃~202年、古代のキリスト教の理論家)は、四つの生き物を神の救いの計画の四つの次元を表すものと考えました。

①獅子:キリストの王としての姿、②雄牛:大祭司キリストの奉献、③人間:キリストの人としての来臨、④鷲:教会に降る聖霊の象徴としました。さらに①獅子:ヨハネによる福音書、②雄牛:ルカによる福音書、③人間:マタイによる福音書、④鷲:マルコによる福音書の象徴としました。

※司教は、カトリック教会の聖職者の位階(司教、司祭、助祭)の一つで、プロテスタント教会ではこのような位階は存在せず、牧師が教会の指導等を行います(→万人祭司、全信徒祭司)。

その後、ヒエロニムス(AD347年頃~420年、キリスト教の聖職者・神学者)は、①人間をマタイ、②獅子をマルコ、③牛をルカ、④鷲をヨハネに当てはめました。

他に、①人間をルカ(マタイ)、②獅子をマタイ(ヨハネ)、③牛をマルコ(ルカ)、④鷲をヨハネ(マルコ)に当てはめるものもあり、当てはめ方には種々あります。